

ボランティア情報紙



「わ」

～人と人とのつながりを大切に～

このボランティア情報紙『わ』では、聖ヨゼフ園にボランティアに来ていただいている方々の紹介や聖ヨゼフ園と地域の方々との交流の様子などを掲載していく予定です。

人と人が出会えた瞬間に「わっ！」と感動し、そこに自然と「輪」ができる、そして人から人へとその“輪”が広がり、その輪の調和がとれた瞬間…「和」となる。「人と人とのつながり」を大切にしたいとの思いから、この情報紙名にしました。

ボランティアって、どんな活動があるの?!

ボランティア活動は、私たちの暮らす地域や社会、また、日常生活の様々な課題の解決を目指しながら、私たちの生活をより豊かにする活動です。一律に決まったスタイルや形態があるわけではなく、取り組み課題・地域性・メンバーなどによって、様々な活動が存在しています。私たちの身近な所でも、ボランティアグループや市民活動団体、ボランティア・市民活動センター、社会福祉協議会等で、どのようなボランティア活動があるのか探してみるのもいいかもしれません。ここでは、いくつかのボランティア活動をご紹介します。

食事サービスのボランティア

→食事の支度が難しい高齢者世帯等へ、手作りで温かい食事を提供する活動。
配食・合食サービスがある。

日本語ボランティア

→日本に在住、あるいは滞在している人たちのために、日常生活に必要な日本語を教える活動。

社会福祉施設でのボランティア

→施設を利用している方の生活を尊重しながら、身の回りのお手伝いやお話し相手などを通して、施設での生活や人間関係を豊かにする活動。

手話通訳ボランティア

→手話を使って耳の不自由な方へ情報を伝えたり、お互いの意思を伝え合う活動。

災害時のボランティア

→被災地の状況や必要に応じて、住民の安全確認や救援物資の配分などを、即応性や柔軟性を生かして行われる活動。

病院でのボランティア

→患者さんが安心して治療を受けることができるよう、医師や看護師などと協力して行われる活動。

国際協カボランティア

→世界での貧困や飢餓・環境破壊などの数多くの問題を抱える国を、人道的な立場から教育や保健・医療・環境保全として支援する活動。

その他にも、点訳・音訳ボランティア、自然・環境保護ボランティアなど多岐に渡っています。

「ボランティア活動には興味があるけど、時間がなくて・・・」という方も少なくないと思います。時間がなくてもボランティア活動に関わったり、ボランティア活動を支える方法もあります。寄付、使用済みの切手やプリペイドカード、プルタブなどを集めて送る、お金を集めて寄付をする、グループ・団体の会員になる等も立派なボランティア活動の一環です。自分にあったボランティアへの参加方法を見つけられるといいですね。



第5回 ボランティア紹介コーナー

『筑紫女学園大学
社会福祉研究部』



第5回は「筑紫女学園大学 社会福祉研究部」の皆さんです。

平成23年12月より「お話し相手ボランティア」としてご来園いただいております。これまでには主に障害のあるお子様の託児等の活動をされてきており、施設でのボランティアは初めてだそうです。現在部員は約25名で活動されています。1回目の活動後「楽しかった！少しずつ入所者の方と仲良くなっていきたい♪♪」と嬉しい感想をいただいています。

活動日は定期で毎月第4土曜日10時からです。当園へは都合のつく方が来て下さるので、毎回「次はどんな学生さんに会えるかな？」と入所者の方はとても楽しみに待っています。今後もよろしく願っています。

第1回 ボランティア交流会

3月3日、当園で初めてボランティア交流会を開催しました。日頃、大変お世話になっているボランティアさんに改めて感謝の気持ちをお伝えしたく、また、様々なご意見やご感想をお聞きする場になれようと思い企画しました。

当日は、14名のボランティアさんにお越しいただき、和気あいあいとした雰囲気のもと、私たちスタッフも会を楽しませていただきました。

これからも、ボランティアさんに対する感謝の気持ちを忘れず、ボランティアさんが活動しやすい環境提供ができるよう、私達スタッフも精進していきたいと思っています。

改めて、今後とも宜しく願い致します。



編集後記

私は大学時代4年間、サークルの活動で聖ヨゼフ園と同じような施設へ行きボランティアをしていました。日曜日には朝5時に起きてボランティアへ行き、授業の後は週2回集まって話し合いをし、夏休みもほとんど毎日レクリエーションの道具を作って…本当にボランティア中心の4年間だったと思います。資格の試験やアルバイトとの両立がうまくいかなかったり、無理をすぎて体調を崩したり、自分が好きでやっていることなのに嫌になってしまうことも多かったです。何度も何度もやめようと思いました。

それでもやめずに続けられたのには訳があります。「いつも先生さんが来るの本当に楽しみに待ってるよ!」声をかけてくれたボランティア先の入所者さん・ご家族、職員さん。一緒に頑張ってくれたサークルのメンバー。そして「自分にとって大事なことから一生懸命やりなさい!」と背中を押してくれた家族。こうした周りの人の支えがあったからこそ続けていく事が出来たのだと思います。

ボランティア活動での4年間では、本当に欠かせない、大切なことをたくさん経験させてもらいました。ボランティアには続けてみないかわからない大変さや喜びが、必ずあります!

ボランティアを受け入れる側となった今では、来てくださる方に楽しみながら、時には悩んだりもしながら、当園でのボランティアを続けていただけるよう、今度は自分が少しでもボランティアさんの支えになりたい。そして私自身も皆さんに負けたくないくらい楽しんでいきたいと思っています。(戸村)

お持ちしています。ボランティア募集中です! お気軽に下記までご連絡ください! 見学だけでも大歓迎!

- 発行元: 社会福祉法人 慈愛会 聖ヨゼフ園
- 住所: 三井郡大刀洗町山隈374-1
- 電話: 0942-77-1393
- 編集: 地域福祉部
- メール: volun@jiaikai-fuk.or.jp

